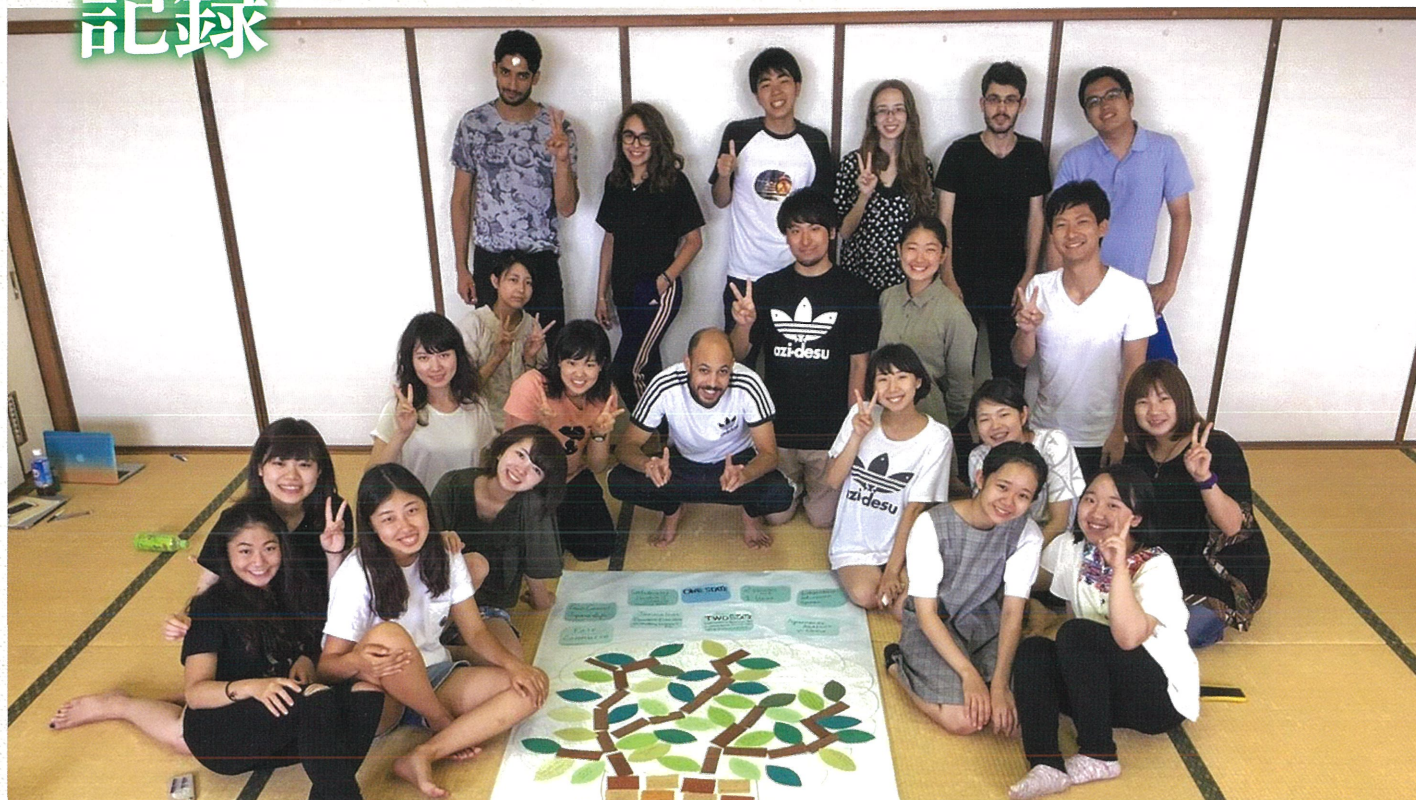


5年間の 活動の 記録



日本・イスラエル・パレスチナ学生会議

日本・イスラエル・パレスチナ 学生会議の支援

この会議は、「イスラエルとパレスチナは隣人同士であるにもかかわらず、相互の交流が制限され、お互いの理解も進まず、憎しみすら生まれている。これは、当事者間の交流の不足が紛争を長引かせている一因である」と考えた日本の大学生が、両地域の学生を日本へ招き、共同生活を送ることで相互理解と問題解決を図ろうとする活動です。

平成30(2018)年に、この会議を主催する学生に会い、その思いの強さ、意識の高さ、行動力に驚き、強く共感し、キリスト教との関係も深いことから、この活動を支援することとしました。

また、この学生会議のことを西南学院に紹介したところ、この会議のために、西南学院の施設の使用も可能であるとの回答を得、この会議を福岡で開催することへの道筋を作りました。令和2(2020)年3月には、この会議の正副代表が来福され、福岡での開催が決まりました。



高島市長訪問

あわせて、福岡市長への表敬訪問の仲介も行いました。

しかし、残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大が続く、両地域からの来日も困難となり、この会議の開催自体が中止となっています。今後、この会議が再開された際には、全面的に支援してまいります。